

## MMS研究会第3回幹事会議事録

日時：2002年7月21日（水）12時00分から14時15まで

場所：淡路夢舞台（ウエスティンホテル淡路）

出席者：林、矢嶋、中嶋、杉木、大山、鈴木、松元、兵庫、山影、菊池、田中、祖父尼  
近藤、青儀、岡、浅野（順不同、敬称略）

### 議題1：次期開催プログラム（第42回定例会）

会期：2002年11月27日（火）午後6時から

場所：日本教育会館

ヒト肝臓S9を用いた共同研究も進行しているので、今回はヒト材料およびその情報の利用についての倫理的な側面および科学的側面から掘り下げた討論をすることになった。

このミニシンポはBMSとのジョイントシンポジウムとすることに中嶋幹事（BMS会長）の了解を得た。

プログラム：

1) ヒトS9を使った試験についてのミニシンポジウムを開催

Ames試験：羽倉会員

WTK-1細胞：本間会員

2) 海外招待講演 Dr. L. Schechtman (FDA)

ヒトをターゲットにした話題もしくはヒト関連の遺伝毒性の話題を講演してもらう

1) については事務局から公式に依頼、2) については矢嶋会長から再確認してもらう

### 議題2：来年の43回定例会開催場所

宇野会員（三菱ウエルファーマ）から千葉県房総で開催可能であるとの報告があった。

2003年6月13日（金）、14日（土）の2日間とする。

もし、トキシコロジー学会などと重なる場合は日程を前週かまたは1週間延ばす。

（トキシコロジー学会、会期：2003年7月18-20日、JEMS公開シンポジウムは5月31日  
長井記念会館開催予定）

### 議題3：共同研究について

1) 共同研究の会計はすべてMMS研究会の会計に窓口を集約する

会計幹事の事務処理を簡単にするために、共同研究ごとの管理ではなく共同研究として一括管理とすることに全員一致で合意した。

2) 共同研究に参加する機関がMMS研究会と共同研究に関する契約書または覚え書きのような書類を必要とする場合が今後増える可能性があるため、その場合に備えて対応を考える。

3) 共同研究の世話人の交替について

世話人代表が人事異動、退職などで交替しなければならないときは、共同研究の世話人会で必ず引継をし、論文発表まで責任を持って対処することとした。

現在の共同研究の世話人および進行状況

幼若ラット肝臓小核 世話人代表：鈴木洋氏（イナリサーチ）に交替、第1次がほぼ終了し、第2次として検体数を増やして実施予定。

精巢小核 若田幹事が代表を引継ぎ、手法の確立はほぼ終了した。

腸管小核 Mutat. Res.発表 著者：大山ワカ子他 第1次は完了した。  
皮膚小核 世話人代表：浅野庶務幹事、第2次のデータ収集  
トランスジェニックマウス 論文化は進行中、世話人代表：矢嶋会長  
ヒト細胞共同研究 世話人代表：本間会員 第1次としてはデータ収集は終了し、EMS等  
で発表した。来年3月をめどに論文化。第2次としてヒトS9を使ったMultiple-endpoint。  
トキシコジェノミックス 世話人代表 降旗会員 第1次共同研究のデータを収集中

#### **議題4：2003年の幹事選挙**

実施時期：2003年4月下旬投票用紙の配布  
2003年5月中旬締め切り

電子投票を実施する方向で兵庫幹事(Web Master)に方法の検討をお願いした。

#### **議題5：ホームページについて**

今後、会員への情報伝達は主として電子メール、MMSホームページなどで行う。  
電子的伝達に関し、プライバシーポリシーをホームページに示すことにしたが、その前  
段階として、会員がどのように考えているかをホームページの掲示板に書き込んでもら  
うにMMSニュースで案内することになった。

#### **その他の議題：**

異数性の検出系の検討について  
MMSで共同研究を行いたいが、目的、方法などについて予備的な検討会を9月6日に開催予  
定。詳細はJEMS林会長のアナウンスをMMSニュースに掲載する。

文責 浅野(事務局)